日本文化研究（演劇）II

科目ナンバリング　ARL-202
選択　　2単位

細田　明宏

1. 授業の概要（ねらい）

近世演劇の一つである人形浄瑠璃（文楽）について学びます。人形浄瑠璃はおよそ400年前に成立し、近世期を通じて発展し、近代以降も多くの人々に親しまれています。当期は代表的な作品である『菅原伝授手習鑑』を取り上げることでその特質について理解を深めます。

2. 授業の到達目標

近世演劇の一つである人形浄瑠璃について理解を深めること、そしてその特色を他人に説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験（60%）、小テスト・レポート（20%）、平常点（20%）を合わせて評価します。なお期末試験に代えてレポートを課す場合もあります。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

事前に授業内容の概要を配布（PDFファイル）するので、それを読んでおくこと。なおその概要は、プリントアウトまたは要点をノートに書くなどして授業に臨んでください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

【第1回】　人形浄瑠璃の概要
【第2回】　文楽の舞台
【第3回】　人形浄瑠璃の興行
【第4回】　時代物浄瑠璃の上演形式
【第5回】　『菅原伝授手習鑑』初段
【第6回】　『菅原伝授手習鑑』二段目・道行
【第7回】　『菅原伝授手習鑑』三段目その1
【第8回】　『菅原伝授手習鑑』三段目その2
【第9回】　『菅原伝授手習鑑』三段目その3
【第10回】　『菅原伝授手習鑑』四段目その1
【第11回】　『菅原伝授手習鑑』四段目その2
【第12回】　『新版歌祭文』野崎村（中）
【第13回】　『新版歌祭文』野崎村（切・前半）
【第14回】　『新版歌祭文』野崎村（切・後半）
【第15回】　まとめ（期末試験）